

第10回議会報告会 質疑・応答 抜粋（要点筆記）

平成30年5月26日

川之江ふれあい交流センター

<p>問い</p>	<p>新宮出身です。今回で10回目の議会報告会、初めて参加しましたが、大変有意義なものだと思うが、市内3箇所ということで、新宮地域では行われませんが、呼びかけとか、新宮地域で行う予定などはどうなっているのか。</p>
<p>答え</p>	<p>今回、議員のいる市内三地区ということで行ったが、過去に新宮地域で行ったこともある。今後は、貴重なご意見を参考にして生かしていきたいと考える。 注) 平成30年8月18日(土)に新宮公民館にて開催</p>
<p>問い</p>	<p>議会や委員会の傍聴をしたことがあり、有志のグループで市の補助金が有効に使われているか勉強会を行ったりもしている。 その勉強会の中で、団体自体が自前の活動予算を持たない人権対策協議会への補助金が4,000万円から2,000万円ほどに減額になったが、会員の活動に交通費のみならず日当が出ているのはどうなのか。 また、住宅を建設するために低利率で融資されているが、返還が焦げ付いている額が3億円を超えていると伺っている。返還の見込みもないということだが、どうなっているのか。</p>
<p>答え</p>	<p>答え① 補助金については、議会のたびに市に改善を求めている。数値的には1,980万円である。補助金が使われる内容もいろいろあるようで、実際市の財政が厳しい中で、小中学校の図書費が十数万円カットされたり、LED防犯灯設置費の補助額も総額600万円を応募件数で割るという方法に変わった。今まで一灯15,000円だったのが、本年度既に600灯を超える応募があるようで、それだと一灯の補助額が10,000円を切るようになってしまう。 次に住宅新築資金等貸付事業の滞納額は3億円を切っているが、全部回収するためには何十年とかかるということになってしまう。これらの点議論を進めていきたい。</p> <p>答え② 以前の会でも同じ御質問をいただき、これらの点について改善が進んでいる部分もあるが、引き続き矛盾のないよう考えていきたい。</p>
<p>問い</p>	<p>以前の会ではイノシシ対策をお願いしたところ、おかげでだいぶ減ったのでお礼申し上げます。本日は2件お願いしたい。 土地改良事業で農業用水路を補修するための補助率が地元が3割負担になっているが、農振地域については1割負担にしてほしい。そうしないと農業用水路が小さく分かれており水利権組合が多数あるので、各自の負担が大きくなる。 金田地区は下水道がなく、合併浄化槽設置の場合は補助があるが、浄化槽から排水される水は家庭排水と一緒に農業用水路に流れ込んでいる。浄化槽設置後は7条・11条</p>

	<p>検査と沈殿した物のバキュームをしなければならないが、どうも十分検査が行われていないような気がする。補助金を点検の方に回すか、設置の際に点検も含めて補助していただきたい。</p>
答え	<p>答え① できるできないをこの場でお答えできる立場にないので、どのように市政に伝えていくかというお答えになるかと思えます。負担割合については、市の農業振興のためには非常に重要な意見と受け止め、市に実現できるように伝えていきたい。 合併浄化槽の点検についての補助金については、気が付かなかった部分でもある。今後 考えていきたい。</p> <p>答え② 水路をきれいにするのは非常に大事である。 これまで設置の補助金だけで点検の補助金はなかったが、規制緩和の中いろいろな業者が頑張っている。補助金については、国の法律が必要な部分もあるが、今後できないか検討していきたい。</p> <p>答え③ 設置のときに土地改良区に納めなければならないお金もあるので、そうした点も含めて考えていきたい。 農業用水路の場合の3割負担と農道補修の場合の負担率が違うので、どういう点で差があるのか研究を深めてまいりたい。</p>
問い	<p>さきほど、全体の予算で国保が94億とお伺いしたが、今月も市から国保利用料の通知が来た。経費節約といわれる中、通知を送るのにどれくらい費用がかかっているのか、2カ月に一回報告する義務が国の法律で決められているのか。これを減らすことが大きな経費節減につながっていくのではないか。</p>
答え	<p>答え① 医療費通知書の送付については、県下20市町すべてで、年6回の発送が行われている。平成29年度の支出額は524万円であるが、愛媛県の調整交付金が300万円なので、市の持ち出しは200万円強である。 ちなみに、全国の市町村実施率は、94.3%である。</p> <p>答え② この通知を送るというシステムは、利用者にどれくらい医療費を使っているかということを知らせ健康への意識を喚起する点もある。</p>
問い	<p>川之江支所の跡の建物建設、川之江幼稚園・保育所など建物が増え続ける中、どんどん借金が増えていくのではないか。将来への憂いとなるのでは。</p>
答え	<p>答え① 懸念はしている。文化ホールはオリンピック特需と震災後復興の建築費や資材値上がりの時期、坪280万かかる時期に今建てなければならないのかということである。三</p>

	<p>島の庁舎、中田井浄水場もある。私はいかがなものかと思っている。他の議員さんがどうお考えなのかは知らない。非常に将来が不安である。</p> <p>答え②</p> <p>まさに同感である。</p> <p>市民文化ホール 48 億、庁舎 56 億、この川之江ふれあい交流センター建物 7 億 7,000 万、電気工事 9,000 万と巨額な建設が進んでいる。合併特例債を利用し、市の負担は 3 割で済むということであるが、国が 1,000 兆円の借金がある中、肩代わりが担保されるのか不安である。先ほど国保が高いというご意見があったが、これにしても国の補助割合が当初 5 割より減らされてきている。もう一つの問題は、巨額な工事の入札を行うと、予定価格に近い価格で落札されているということである。これは予定価格を先に公表しているためで、この点は毎回問題提起しているが、契約が否決されたことはない。</p> <p>答え③</p> <p>予算に賛成した立場から、この 30 年以内に南海・東南海地震が起こるであろうという状況の中で、耐震化の必要性が重要視されている。将来の人たちのために合併特例債を利用するのも一つの手段である。以前は、市庁舎も耐震化だけという案もあったが、平成 16 年の台風の際には、市の 20 億円の貯金が一回の台風の対応のためなくなった。本当に大きい災害が来たら市の貯金はなくなる可能性があるので、できるときにやるべきである。</p> <p>答え④</p> <p>予算に賛成した立場からの意見として、借金は確かにありますが、今ある 610 億円の借金のうち約 7 割の 400 億円近くが合併特例債として国が補助してくれる。災害に備えて市庁舎の地下には水の確保もできるようになっている。文化ホールも文化に通じる町にしていきたいという思いの実現である。大事なのは、この後の運用方法について市民の方が納得していくようにすることである。</p> <p>答え⑤</p> <p>道路が悪いという陳情が多い中、電動カー、手押し車、杖を突いた人が通れないような、そうした道の整備をしないで箱物を作るのはどうかということをお願いするのである。要は、バランスが重要である。</p>
<p>問い</p>	<p>特例債も借金である。国が 7 割面倒見てくれると言っても、払わないでよいわけではない。市の財政はどういう計算をしているのか。金が入らなかつたら支払えないというのでは困る。</p>
<p>答え</p>	<p>答え①</p> <p>市には合併特例債の使用計画がある。平成 31 年にピークを迎えるが、平成 38 年には 550 億円に減少する。</p> <p>答え②</p> <p>御指摘はもっともである。国の税金で地元の負担が軽くなるということではない。国が国民に負担を求めたり、補助していたことが引き下げになっては意味がない。地方の積立基金が莫大な額になっているため、国では地方交付税を取りやめようという議</p>

	<p>論もあるので見直していくべきである。</p>
<p>問い</p>	<p>金田町、川滝町の水路や道路が非常に悪い。 市議会議員皆さんの力を合わせて良くしてほしい。</p>
<p>答え</p>	<p>答え① 議員の立場の違いはあるにせよ、市民の幸せのために努めたいという思いは同じだと思っているので、協力して頑張っていきたい。</p> <p>答え② 建設の予算額が、四国中央市に合併後、旧川之江市当時の年間 45 億円と変わらない。 この状況で対応している現状を知ってほしい。</p>